

小学校での授業

狛江市教育委員会では、毎年、社会教育課文化財担当の職員が小学6年生を対象に出前授業を行っています。遺跡の写真や狛江の遺跡から出土した土器などの実物を学校に持ち込んで授業をします。

実物に触れたり、身近の遺跡の話を聞いたりすることで、子どもたちの古墳や狛江に対する興味・関心が高まっていきます。

狛江第一小学校の6年生の総合学習では、例年”Komae Pride”と称して、狛江の良いところを調べる地域学習に取り組んでいます。

今年は古墳を調べるグループがあり、令和元年11月25日の1・2時間目に文化財担当の職員が古墳について解説し、その後、子どもたちと一緒にだぐらづか 駄倉塚古墳、きょうづか 経塚古墳、かぶとづか 兜塚古墳を見学しました。



駄倉塚古墳

えっ!?これも、古墳だったんだね。



東京都指定史跡の兜塚古墳

古墳の大きさを体感!

実はここは狛江で一番高い土地。

昔はここから多摩川まで見渡すことができたのかな?



文化財担当の職員による授業

身近な遺跡から歴史学習への関心をグッと高めます!

古墳や発掘されたものについて解説を聞いた後、外に出て実際に歩いて古墳を訪ねました。



経塚古墳に登りました

マンションの隣に残されていることに驚きました。1400年前はどんな景色だったのか想像してみよう!



学校に戻っても熱心に質問していました



勉強になるなあ!